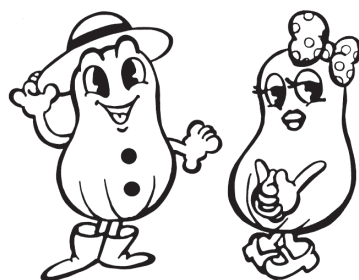


市議会だより



子ども模擬議会

1月19日(休)に市議会議場において
子ども模擬議会が開催されました。
市内の小・中学生や高校生
たちが、身近な問題を市執
行部に問いかけました。



ピーちゃん ナッチちゃん

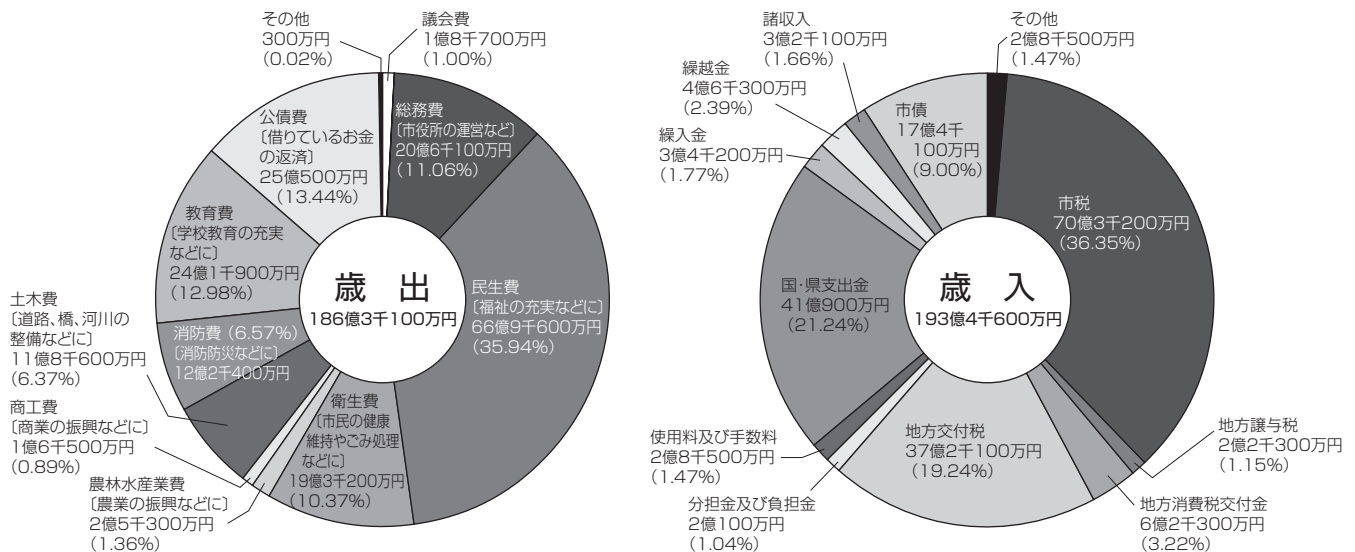
主な内容

12月定例会

- 平成22年度決算・提出議案の主な内容 — 2～3P
- 各常任委員会の内容 — 4～5P
- 一般質問(個人16人) — 6～14P
- 議長・副議長の出席報告 — 15P
- 審議された議案と結果 — 16P

平成 22 年度各会計決算が認定されました。

平成 22 年度一般会計決算



※歳入歳出差引額 7 億 1 千 500 万円は、翌年度への繰り越しや、基金に積み立てました。

平成 22 年度一般会計決算討論！

(一部要約)

反対討論

景気対策の強化や市民の暮らしを守る施策がないまま、市財政への財源の確保にあたって受益者負担の適正化を強かに推進し、下水道使用料平均 17.5% 総額 4 千万円引き上げ、国保税の最高限度額 4 万円アップ、また、後期高齢者医療制度では、年金収入 153 万円以上の高齢者の約 5 割が保険料引き上げになるなど、市民への負担を強化しました。財源確保では、市税収アップの対策として、強権的な対応ではなく、話し合いを重視した対応が求められています。また、約 9 億円で購入した八街駅前の公共核施設用地は活用計画もないまま放置され、有効活用が求められています。入札の改善では、1 業者が長期にわたり落札しており、入札の透明性、競争性、公平性を追求すべきです。市民の暮らしを守る施策では、高過ぎる国保税は、市民の担税能力を超えており、法定外繰り出しの復活が必要です。子どもたちの居場所としては、児童館の設置が求められています。野菜の価格保証や加工、農業後継者対策、農業機材などへの支援が求められています。また、中小業者、商店街活性化の積極的な取り組みが必要です。道路整備では、市全域の冠水対策計画などが求められています。教育関係では、長欠、不登校対策に複数担任制や各小学校に適応指導教室の設置が必要です。就学援助制度は、市民生活が悪化する中、さらなる制度の充実を求めます。また、川上小学校、八街北小学校、八街東小学校の耐震化は、最優先課題であり、早急な取り組みが求められています。以上の立場から反対いたします。

賛成討論

本決算におきましては、自主財源の根本をなす市税が景気の低迷などにより、2 年連続で減少いたしました。地方交付税や臨時財政対策債等の増加により、財政調整基金からの繰り入れを抑え、積立金現在高を「ほぼ横ばい状態」としております。しかしながら、市税は財政運営に非常に大きな影響を持つ自主財源であり、また、負担の公平性の観点からも収入未済額の解消に関しましては、しっかりと内部で協議を重ねていただきまして、これまで以上の鋭意努力を期待するものです。歳出面では、人件費・扶助費・公債費をもって構成する義務的経費が、10 年連続の増加となり、また、決算額の 58.2% を占めております。このうち、人件費は前年度より減少いたしましたが、扶助費が 5 年連続の増加、公債費が 7 年連続の増加となっております。このため、財政構造の弾力性を示す経常収支比率が 5 年連続の 90% 台と非常に厳しい本市の財政状況ですが、財源の確保や経費の節減合理化に努め、地域安全パトロール事業の実施、児童医療費助成事業の拡大、前立腺がんの検診実施、消費生活センターの設置、市道 115 号線・市道 216 号線交差点改良工事の実施、建物耐震診断助成事業の開始、特別支援教育支援員の配置、図書館開館日数の拡大など、新規の事業、または事業の拡充を図り、市民サービスの向上を行ったことが認められます。総合的に判断いたしまして、賛成の立場から意見を述べます。

財政指標

区 分	平成22年度	平成21年度	平成20年度
財 政 力 指 数	0.676	0.700	0.703
実質収支比率	4.3%	3.5%	3.0%
経常収支比率	92.6%	94.7%	94.5%
公 債 費 比 率	14.1%	14.4%	13.5%

■財政力指数

3年間の平均値で表す。1に近いほど財政力が強い。
1を超えるほど余裕財源を持っていることになる。

■実質収支比率

実質収支額の水準を判断するもの。3～5%が望ましいとされる。

■経常収支比率

財政構造の弾力性を示す指標として用いられ、この比率が高いほど
経常一般財源に余裕がなくなると考えられ、通常は、70%～75%
が標準とされている。

■公債費比率

地方債の元利償還に充てられる経費の一般財源に占める割合を表し
たもの。財政構造の健全性を維持するには、10%を超えないことが
望ましいとされている。

平成22年度一般会計・特別会計決算

(単位：円)

区 分	歳入決算額	歳出決算額
一 般 会 計	19,345,928,255	18,630,744,358
特 別 会 計	13,430,511,226	13,339,647,228
国民健康 保 険	8,255,208,881	8,239,380,896
老人保健	17,313,990	17,313,990
後期高齢 者 医 療	335,757,881	330,805,148
介護保険	3,118,385,625	3,083,990,994
学校給食 センター事業	711,185,330	710,740,433
下 水 道 事 業	992,659,519	957,415,767
合 計	32,776,439,481	31,970,391,586

平成22年度水道事業会計決算 (単位：円)

区 分	決 算 額
水 道 事 業 収 益	1,128,233,113
水 道 事 業 費 用	1,088,636,193
資 本 的 収 入	196,173,068
資 本 的 支 出	380,308,681

12月定例会 提出議案の主な内容

平成23年12月定例会は、11月30日に開会
され、議案12件、請願1件、議員提出議案
1件が提出され審議されました。
《紙面の都合上、議案の内容の一部を掲載
します》

◆一般職の給料引き下げ
人事院及び県人事委員会
の勧告は、公務員と民間の
給与を比較した結果、公務
員が民間を上回ったこのこ
とでした。このことから格
差を解消するため、勧告に
基づき一般職の給料月額
の引き下げを行いました。

◆在宅重度知的障害者及び
ねたきり身体障害者福祉手
当支給条例を制定
現在は、在宅重度知的障
害者等と同居している養護
者に養護手当を支給してい
ましたが、この条例の制定
により、重度知的障害者等
の当事者もしくはその介護
者に支給するようになりま
した。

障がい者就労支援事業所



主に、精神障害者を対象とした就労
継続支援B型事業所を想定し、通常
の事業所に雇用されることが困難な
障がい者につき、就労の機会を提供
するとともに、生産活動その他の活
動の機会を通じて知識及び能力の向
上のために必要な訓練その他必要
な支援を行います。

◆障がい者就労支援事業所
障がい者就労支援事業所
(東吉田729番地13)の指
定管理者に、社会福祉法人
光明会理事長 小澤定明氏
を平成24年4月1日より平成
32年3月31日まで指定しま
した。

◆字名の変更
八街駅北側地区土地区画
整理事業区域内の字名が
『八街字北中道』から新た
に『中央』に変更し、本市
の新しい拠点として充実を
目指します。(現在、準備中)



▲学校給食センター調理風景

○千葉県人事委員会勧告等
に基づく給与改定の実施や
人事異動に伴う人件費の減
額。(3千860万8千円
全会計含む)

◆一般会計補正予算
○生活保護費を増額
(2億6千811万7千円)
○疾病の早期発見に努める
ため、国の補助を活用し大
腸がん検診を無料で実施。
(511万3千円)
○市道116号線他市道の
舗装や歩道の破損箇所の修
理。(1億6千万円)
○道路排水施設の整備。
(400万円)
○農産物地域ブランド化推
進事業として農産物の地産
地消を図るため、学校給食
用に八街産の小麦を使用し
たパンの開発を推進。
(37万8千円)

議員全員賛成により意見書を国等に提出しました

国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書

- 1、子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金
地方自治体における子宮頸がん予防ワクチン、H i b ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種事業を財政支援する基金であり、ワクチン接種について予防接種法の対象疾病に位置付ける法改正が実現するまで継続すべきである。
- 2、安心子ども基金、および妊婦健康診査支援基金
保育所や放課後児童クラブなどの整備を後押しする安心子ども基金、および妊婦健診の負担軽減を図る妊婦健診支援基金について政府は、新たに創設する子ども・子育て新システムの中で対応するとしているが、具体的な中身が明らかになっておらず、当面は基金事業による対応が現実的であり、継続すべきである。
- 3、介護職員処遇改善等臨時特例基金
介護職員の賃金引き上げなどを行うための基金として創設し、今年度末まで予算措置されているが、来年度以降の対応は、引き続き基金事業によるのか介護報酬によるのか、方向性がまだ見えていない。介護職員の処遇改善は極めて重要な課題であり、介護報酬で手当てできない場合は、既存の基金を積み増し、着実に賃金引上げなどに充てられるよう措置すべきである。
- 4、障害者自立支援対策臨時特例基金
障害者自立支援法の施行に伴う事業者の経過的な支援を行うため、平成 18 年度から 20 年度までの特別対策として実施し、その後、既存事業の拡充や新たな事業を盛り込み、今年度末まで延長されている。来年度以降も、新体系移行後の事業所支援やグループホーム等の設置補助などが必要であり、基金継続によって柔軟な支援をすべきである。

学校図書館の充実を求める請願

学校図書館は、児童・生徒にとって最も身近な「図書館」であり、一人ひとりの学びや豊かな情感を育む上で欠かせない場所となっています。全ての子ども達にとって利用しやすい学校図書館を整備することは、学校教育における調べ学習の充実や新聞教育への取り組みなど、児童・生徒が自ら調べ、自ら学ぶ力を伸ばします。また、子ども達が多くの良書と出会い、本の世界を存分に味わうことで、幅広い物事の見方や考え方を身に付け、知識の世界を広げながら、より豊かな社会生活の実現にも資することとなります。ところが現実には、学校図書館の整備状況は自治体の財政状況に左右され、県内でも専任の学校司書が置かれている自治体は少数にとどまっています。そのため、多くの学校現場では、多忙な職務の間に担当の教職員が図書室の整備を行ったり、保護者や地域のボランティアに整備をお願いしたりしているために、継続的・専門的な視野での読書環境の充実・整備がなされていないのが実情です。学校図書館がその機能を発揮するためには、十分な額の図書購入費や読書環境の整備、専任・正規の専門職員の配置が不可欠です。3月の東日本大震災以降、多くの子ども達が読書によって笑顔を取り戻し、絵本や物語を通して生きる勇気と希望を感じています。全ての子ども達が、これからの時代を豊かに生きる力を身に付けられるよう、請願致します。

1. 学校図書館費（図書整備費）を大幅に増額すること。
2. 全ての市立小中学校で、学校図書館図書標準を満たすよう早急に財政措置を講ずること。また古くなった本は速やかに修繕・入れ替えをすること。
3. 全ての市立小中学校に、専任・正規の専門職である学校司書を配置すること。

（賛成少数により不採択となりました）

委員会での審査

12月13日から15日に各委員会が開催され、付託された議案等を審査しました。

（紙面の都合上、質疑等の一部を掲載します。）

総務

◆字の区域及び名称の変更
郵便番号、地番は、どの様になるのか伺う。

答 現在、郵便局と協議を進めている中で、番号が変わるとの方向に進んでいます。地番は、法務局と調整することとなりますが、街区が定まっているので、街区番号とその街区の中で小番が振られているのではないかと考えています。

問 市民に告知するのはいつ頃になるのか。

答 区画整理事業に伴う字名の変更になりますので、換地処分公告



▲八街駅から見た北側地区

と同時に効力を発生することになります。換地処分を平成24年の10月頃を予定しておりますので、その頃になる予定です。

◆平成23年度八街市一般会計補正予算
中国残留邦人生活

問 支援負担金の内容を伺う。

答 平成20年4月から実施している制度です。目的としては、中国残留邦人等の特別な事情に配慮し高齢基礎年金等を受給しても、生活の安定が図れない中国残留邦人等に対し、老後の生活を安定させるために公的年金制度による対応を補完する制度になります。現在支給数は、2世帯4人になります。

問 選挙事務従事者の職員手当の形態を伺う。

答 県議会議員選挙は、時間外手当の支給で対応しています。市議会議員選挙は、7時間45分の本来の勤務時間は他の日に振り替えを行い、それを超える部分については時間外手当で対応しています。

問 消火栓維持管理費の内容を伺う。

答 上水道配水管に設置されている消火栓の漏水あるいは、消火栓鉄蓋のがたつきによる振動を防止するためのかさ上げ工事等の経費を負担するものです。今回の補正は6力所分の漏水やかさ上げの対応分になります。

問 委託に関わる積算の見積もり要綱等は、ないのか。

答 積算基準としては、入札案件の場合は3者からの見積もりの平均額。随意契約案件については、2者見積もりの最低価格となっています。今後、清掃業務は、財団法人建築保全センターが公表している建築保全業務積算基準を用いて設計できるのか検証したいと考えています。

文教福祉

◆八街市在宅重度知的障害者及びねたきり身体障害者福祉手当支給条例

この条例が制定されると、支給対象者が2名増えるということです

が、どの様な方が増えるのか伺う。また、在宅の方に支給される手当てと考えると、グループホームに入所されている方はどの様になるのか。

知的障害者の方で、在宅が1名、グループホームが1名になります。グループホームは、在宅扱いになります。

◆指定管理者の指定
指定管理者制度になると議会が直接関係と出来なくなるので、チェック機能はどのように考えているのか伺う。

指定した団体から、市長に事業報告、事業方針、決算等の報告を受け、必要があれば指示出来るので、心配することはないと考えています。また、市議会には、要望があれば開示出来るかと考えています。

◆平成23年度八街市一般会計補正予算
生活保護費扶助では、当市の高齢者世帯等の扶助給付世帯の割合を伺う。

平成23年11月末で、高齢者世帯は273世帯42.9%、傷病世帯は209世帯32.8%、障がい世帯54世帯8.5%、母子世帯40世帯6.3%、その他61世帯9.6%です。

◆公民館大会議室耐震補強工事設計業務費用が工事に対して比率が高いのではないかと。通常の新築の実施設計ではなく、耐震補強設計ですので割合は、高くなつてしまっています。

◆平成23年度八街市国民健康保険特別会計補正予算
一般被保険者療養給付費は、毎年保険給付費が増えているが、大きく割合を占めている疾病は何か伺う。

千葉県県のデータになります。循環器系の疾患や消化器系のがんなどがかなりの割合を占めています。ここ数年の状況

は、60歳以上の方の国保加入割合が増えており、高血圧、糖尿病について年々増えてきています。また、歯科診療については、毎年かなりの割合で支出している状況です。

◆平成23年度八街市介護保険特別会計補正予算
介護サービス等諸費の増額は、サービス量が増えたことですが、どの様な項目が増えたのか伺う。

主に、訪問介護件数が増えていると。その他には、住宅改修や福祉用具の購入などになります。

◆平成23年度八街市学校給食センター事業特別会計補正予算
学校給食配送業務は、なぜ、随意契約で同一業者なのか伺う。

車両の状態が非常に良いため、新規車両を購入してその減価償却費を計上した契約をするよりも、現在の車両をそのまま使用した方が、安価に委託できるので、継続的に随意契約しているものです。

◆平成23年度八街市一般会計補正予算
清掃費の焼却の問題ですが、12月15日の広報紙によると草木などは、出来るだけ搬入しない、欲しいとこのことが、搬入自粛についてどの様に考えているのか伺う。

広報紙に草木等の搬入は自粛と明記しているところですが、現在草木等が搬入されているのが実状です。これらは通常であれば焼却するのですが、現在は、処分場に一時仮置きという形を取っています。太い木なども仮置きしてありますが、いずれ破砕機等にかけて焼却する予定です。焼却飛灰の放射線が下がっているところなので、その辺をご協力していただきたいと考えています。

◆農産物地域ブランド化推進事業の進展状況。また、価格補償について伺う。

平成24年度については、麦の収穫が6月中旬になりますので、夏休み明けにはパンの全量についてユメシホウを使っていく予定です。八街市の学校給食パン用として使う小麦の量は、12トン。面積としては、約5ヘクタールとなっています。

平成23年度から畑作の農業所得補償制度が始まり、パン用の小麦を作付けした場合は、60キログラム当たり、2千550円の加算が付くので、現在作付けしている農林61号に比べて有利に販売できると考えています。

◆焼却施設及び最終処分場汚水処理施設用薬品購入について、債務負担行為が必要になる理由を伺う。

今年度は、東日本大震災の関係で薬品の購入を半年で分けて契約をしていましたが、平成24年度の購入については、まだ震災の影響が出ている可能性があります。主に消石灰、活性炭等の量が多いので、平成24年4月1日の契約にするためです。

◆平成23年度八街市水道事業会計補正予算
漏水修理がかなり増えたということだ

去年240件、本年度は、現時点で150件程になり減っています。有収率については、22年度の有収率は、78パーセントでしたが、本年度は、若干改善される方向に動いています。これについては、以前から漏水調査を実施したこと、並びに毎年漏水の頻度の多い国道等老朽管の更新工事を実施したことと考えております。引き続き効率の良い漏水工事をしていきたいと考えています。

去年240件、本年度は、現時点で150件程になり減っています。有収率については、22年度の有収率は、78パーセントでしたが、本年度は、若干改善される方向に動いています。これについては、以前から漏水調査を実施したこと、並びに毎年漏水の頻度の多い国道等老朽管の更新工事を実施したことと考えております。引き続き効率の良い漏水工事をしていきたいと考えています。



▲配水管漏水修理

市政を問う！

一般質問は、市の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、見解を求めるものです。12月定例会の一般質問は、5日(月)、6日(火)、7日(水)の3日間に16名の議員が質問しました。

(ここでは紙面の関係で、その一部を要約して掲載しています。)



個人質問

児童医療費助成制度や教育問題、
公用車について伺う

公明党

服部 雅恵



児童行政について

問 児童医療費助成制度について対象家庭への申請内容及び申請方法について伺う。

市長

成制度は、児童の保健対策及び保護者の経済的負担軽減を図り、児童の保健の向上及び子育て支援体制の充実を目的に、本年4月からは中学校3年生まで対象学年を拡大して実施しております。制度の周知につきましては、事前に制度案内通知を対象全世帯へ郵送するほか、広報やちまた、市のホームページへの掲載及び市内医療機関にポスターを掲示しています。

問

児童クラブ指導員の人数、また、そのうち有資格者の比率や、指導員の研修状況、保護者と学校との連携について伺う。

市長

有資格者は高等学校等教諭1名、保育士・幼稚園教諭等9名、社会福祉士1名、合

計11名で、全体の約3割となっております。

指導員の研修については県児童家庭課等の主催する研修が年3回、当市社会福祉協議会の主催する研修を年2回実施しています。

教育問題について

問 不登校について、家庭訪問相談員選考基準と各学校の不登校に対する取り組みを伺う。

教育次長

PTA活動やボランティア活動をされている方、小中学校での教職経験の有る方を、面接により選考をしております。20年度から3年間で不登校の児童・生徒に、延べ858回の訪問活動を実施し12名登校できるようにになりました。

問

こども110番の設置件数とその見直しについて伺う。

教育長

毎年、約2千件の協力を維持しており、こども110番推進委員会が定期的に実

公用車の運用について

問 現在の公用車の台数と燃料費について適正か伺う。

市長

公用車の台数は、平成23年10月末現在、128台であり、消防自動車、市有バス、工事作業等の特殊車両を除いた公用車台数は75台であります。このうち、ハイブリッド車は2台導入しております。

燃料費については、公用車128台中、共用車10台と市長車等の特別車2台分として、平成23年10月末現在、68万4千224円であり、前年度同月現在の60万4千974円と比較して、燃料単価の上昇により、7万9千250円の増でした。なお、市は千葉県石油商業協同組合八街支部と、従前より契約を締結しており、毎月、単価の見直しを図っております。

LED防犯灯や免許返納制度、市制施行20周年について

個人質問

公明党

川上 雄次



LED防犯灯について

問 補正予算で追加された市民の安全・安心に貢献するLED防犯灯の更新について伺う。

市長

環境省が勧める地球温暖化対策の補助金を活用し、既存防犯灯をLED化する更新事業として、150基を整備する予定です。

問

通勤、通学者が夕方から夜遅くまで長時間、頻繁に通行している市道が暗く、危険な箇所がある。防犯灯の整備が出来ないか伺う。

市長

防犯灯設置要綱により、地域からの申請で予算の範囲内で設置しています。基準以外の整備は、現在のところ考えておりません。

問

八街市の防犯灯に変えるESCO事業を導入し、経費節減とエコ推進を図れないか伺う。

市長

ESCO事業

は省エネルギーに関する包括的なサービスを提供し、発注者の利益と地球環境の保全に貢献するビジネスで、省エネルギー改修に関わるすべての費用を光熱水費の削減分で賄うものです。本市においては、長期間の計画を策定する必要が生じるため、十分に調査研究をしてまいりたいと考えております。

免許返納制度について

問

高齢者が免許証を自主返納するときの助成制度を本市でも創設すべきと考えるが、如何が。

市長

運転免許証は、身分証明書として利用することが多いので、他市町村では返納の際に、身分証明を目的に写真付き住民基本台帳カードの交付手数料の軽減等を講じている自治体があります。今後、本市といたしましても、サービスの提供について、調査、研究をしてまいります。

住宅リフォームについて

問

平成24年度に実施を考えている市の「住宅リフォーム制度」と国が再開する住宅エコポイント制度との関係について伺う。

市長

住宅エコポイント制度と本市の住宅リフォーム工事補助金は、直接の関係はございません。エコリフォームも市の住宅リフォーム工事補助金の助成対象になります。

市のキャラクターについて

問

市制20周年を期にピーちゃん・ナツちゃんに続く夢のある取り組みとして、新キャラクターを誕生させる考えはないか伺う。

市長

市民にマスコットキャラクターとして定着しており、八街駅南口商店街、創作の「ボツチくん」も浸透してきているので、現在のところは新たなキャラクターは考えておりません。

個人質問

審議会、委員会委員の選考は、もっとオープンに!!

林

政男



市民協働

問

法令あるいは条例で定めるもの以外の市議会議員の各種審議会・委員会への参加を見送ることになり、委員の選考にあたっては、出来るだけ公募にすべきではないか。また、女性の登用状況を伺う。

市長

公募などによる市民参加の推進は、積極的に図る考えですが、それぞれ委員を選任する際に、公募採用の可否及びその場合の手法を含めて検討したいと考えています。平成23年4月1日現在での女性の委員会及び審議会委員への登用状況は、331人中、49人で14.8%の比率です。政策方針決定過程への女性参加は大変重要なので、今後とも審議会等への積極的登用に努めたいと考えています。

生活環境問題

問

雨水排水対策の現状と今後の整備計画

やちまた21

を伺う。また、八街バイパスの整備計画と併せた雨水排水対策を積極的に取り組むべきではないか。

市長

現在、大きな冠水箇所として金毘羅通り、一区消防機庫付近のほか、10箇所の冠水箇所は、計画的に水路及び調整池の整備を図りたいと考えています。金毘羅通りは、東京都八街学園跡地の財務省の土地について、約4千平方メートルを買収出来ることになったので、新年度予算の中で、調整池の整備を図りたいと考えています。今後バイパスの早期完成に向けて調整池の位置等について県と協議を進めたいと考えています。

教育問題

問

朝陽小学校の建て替え計画の進展状況と今後の取り組みを伺う。また、建て替え方法の検討、児童の精神的負担の軽減、交差点改良を見据えて学校用地の拡大を図れないか。



▲改築を待つ朝陽小学校

人口の減少とエネルギー問題

個人質問

人口の減少と対応

問 減少する市民人口の分析と市内企業での就職確保について伺う。

市長 過去に若い世代の転入により、急激な人口増の時期があり、現在は比較的高齢化率は低いですが、今後は本格的な少子高齢化社会に突入していくと予想されます。雇用対策は、就労支援サイト「ジョブナビ八街」を設置し、市内及び近隣の企業に求人情報をご登録いただき、市民の雇用確保に努めています。

環境問題

問 エコ車両の推進状況について伺う。

市長 軽自動車を一掃にして導入し、特殊車両を除いた公用車75台の内、軽自動車は37台です。電気自動車は、車両価格が高く、充電スポットの整備の遅れ等、課題が多いことから、現在導入に至っていません。

やちまた21

加藤 弘



問 公共施設の太陽光発電について伺う。

市長 20キロワットのパネル設置費用だけで、3千500万円程度の見積もりでした。20キロワットは、現在の契約電力の54%であり、また、蓄電池設備は含まれていません。太陽光パネルを庁舎へ乗せられる構造になっているのかなど、検討が必要です。

問 過去のごみ埋め立て地の放射生物質の測定実施について伺う。

市長 市で把握している埋立跡地は、簡易測定器による空間放射線量の測定では、平均毎時0.08マイクロシーベルトでした。八街市放射線量低減対策基本方針で、空間線量が毎時0.23マイクロシーベルトを除染基準としており、いずれの場所も基準値を下回っていました。

問 クリーンセンターの焼却灰・飛灰の状況と今後の対応について伺う。

市長 焼却飛灰は、現在、受け入れ自治体側が焼却灰等に含まれる放射性物質の対応について協議を行っているため、受け入れが可能となるまでの間、県内の業者に委託していましたが、11月2日に受け入れが中断となりました。現在は、福岡県大牟田市の業者と契約し、搬出処理する予定です。また、契約前の焼却飛灰は、一時保管し、引き取り可能な業者と契約したいと考えています。

問 東日本大震災被災地のがれき焼却受入について伺う。

市長 がれきは、直接の焼却が困難なため、破碎してからの処分となります。処理量が增加する上、本市も焼却灰等の処理に大変苦勞しているところであり、現状の受け入れは困難です。

問 その他の質問

◆道路問題モニター制度
◆緊急物資輸送道路標示
◆市道の計画的な補修

市民生活を守る新年度予算編成を

個人質問

市長の政治姿勢

問 TPP参加、消費税増税、社会保障の改悪について市民生活に大きく悪影響を及ぼす問題であり、市長の見解を伺う。

市長 TPPについては、議論不足であり参加表明は時期尚早であり、消費税増税については、国民の皆様にも最終的な審判をおおぐべき。また、社会保障の改革についても国民が納得できる制度改革にしたいと考えている。

問 新年度予算編成について伺う。

市長 深刻な経済悪化のもとで、貧困と格差が増大している。こうしたもとで、市の果たす役割はますます重要になっており、市民生活を支える予算編成を強く求めるが如何か。

市長 基本的な考え方として一点目に「八街市総合計画2005第二次基本計画」の推進。

日本共産党

右山 正美



二点目に「喫緊の課題」への対応。三点目には「効率的な財政システムの確立に向けた行財政改革」の推進。必要な財源を確保するよう予算編成を心がける。また、木造住宅耐震改修工事、住宅リフォーム助成制度の創設を予定している。

問 国保税は、市民の所得が一層低下し、担税力は限界であり、払いたくても払えない状況である。一般会計からの繰り入れや、国庫補助金をもとに戻すよう国に要求して、早くに国保税を引き下げるべきであるが如何か。

市長 現在の国保税は、政の状況からは、引き下げは難しいと思われる。

防災対策について

問 防災計画は、東日本大震災での教訓をどう生かすかという点が問われている。そのために避難場所の整備、備蓄品の整備など考慮していく必要

市長 防災計画の修正を実施することとしている。また、避難場所、防災備蓄倉庫についても、教訓をもとに発電機や投光器、女性の視点に合った備蓄品を整備していきたい。

放射能対策について

問 市の基準と基本方針を伺う。また、放射能測定器の購入を増やし、広く市民に貸し出しをすること。給食の不安をなくすために食品の放射能汚染測定器の購入は如何か。

市長 市の基準も毎時0.23マイクロシーベルトに引き下げた。測定器は必要に応じて増設をしたい。食品の測定器購入は考えていません。

問 土壌・木等の伐採処分について伺う。

市長 国や県に汚染土壌等の保管施設を要望していく。

個人質問

だれもが安心して利用できる介護保険制度を

日本共産党

京増 藤江



第5期介護保険制度について

問 2012年度から

第5期介護保険制度が始まるが、厚労省は保険料・利用料の負担増、軽度者切り捨て、ホームヘルパーの生活援助時間を45分に短縮するなどの方針を出し、65歳以上の保険料の全国平均は5千200円になると試算している。収納率県下ワースト2の八街市では、保険料の引き上げをしないことを求めるが如何か。

市長

国の制度に準じた利用料の軽減措置を実施したい。

再質問

方では高齢者は必要な介護を受けられない。新年度予算は高齢者の暮らしを守るという立場で対応していただきたい。

市長

保険料を引き上げざるをえないが、引き上げ幅をできる限り抑制したい。

問

払いたくても払えない方々に、軽減策が必要と思うが如何か。

市長

災害や失業等で収入が著しく減少した場合、介護保険料減免取扱基準により対応している。

問

収入が大幅に減る災害や失業時に対応

介護保険課長

第5期は実施しない。

冠水対策の強化を

問

大関調整池上流及び周辺道路の冠水対策について、日本共産党はこの間、上流への調整池確保を求めてきたが進捗状況は如何か。

市長

新年度に通称、弁天池の掘削整備の予算確保に努める。また、五区の子豚市場の流域に調整池を作れるよう土地所有者と交渉している。

問

一区東京都八街学園周辺の冠水に対し、学園の跡地を調整池にするよう求めてきた。4千㎡の土地を買収することになったが、周辺住民の憩いの場としても利用できるよう公園用地も含め買収することを求めるが如何か。

市長

今回の取得予定地はすべて調整池のためのものである。

個人質問

地域経済の活性化で元気な街づくりを

日本共産党

丸山

わき子



元気な地域経済を市政の重点に

問

農業・商工業を応援し、生産も雇用も消費も伸ばす元気な地域経済政策を市政の重点に置くことを求めるが如何か。また、地域経済の再生・循環をどう作るのかということ

市長

が問われている。地域振興・街づくり調査を実施し、地域産業経済振興の計画づくりを求めるが如何か。

市長

八街市総合計画2005第二次基本計画に基づき、農業・商工業につきましても、基本計画に盛り込み、取り組んでいる。

問

地域産業経済振興計画の策定の予定はないが、市経済の活性化を図るトータルプランとして、今後、調査・研究したい。

市長

自然エネルギー活用の街づくり

問

再生可能エネルギーのポテンシャルに

ついて伺う。

環境省は今後の再生可能エネルギーの大規模導入、普及のために導入ポテンシャル調査を実施し、その具体化への可能性を明らかにしている。この中で耕作放棄地活用の導入ポテンシャルは47パーセントを占めている。本市の耕作放棄地は耕地面積の1割強。十分活用できると思う。再生可能エネルギー導入ポテンシャルの評価を伺う。

市長

再生可能エネルギーについて、重要であると認識している。今後の検討課題として、

市長

太陽光・風力などで起こした電気を固定価格で電力会社が買い取ることを義務付けた「再生可能エネルギー買い取り法」が成立した。これを機会に地域再生と一体で、自然エネルギーを活用した、街づくりの調査・研究、開発・促進のための調査室を設けることを提案するが如何か。

市長

現行の制度では、所得に応じた保育料となっているが、新システムでは、利用者にも一定の負担をお願いする事となっている。

市長

親にとつては深刻な問題である。国にこの制度の導入の撤回を求めるべきと思うが如何か。

市長

現時点においては、国の動向を注視したい。

子育て新システムについて

問

現行の保育制度は、保育に欠ける児童は市町村が保育をしなければならぬとしているが、新システムでは自治体の保育の公的責任はどうなるのか。

市長

保護者が個々に保育所に入所を申し込む方法が変わるとされている。

市長

保育料はどのようなになるのか。

市長

現行の制度では、所得に応じた保育料となっているが、新システムでは、利用者にも一定の負担をお願いする事となっている。

市長

現時点においては、国の動向を注視したい。

個人質問

自主財源確保のため、市税等の徴収成果を問う

古場 正春



一 行財政改革問題

問 職員数の削減について伺う。

市長 集中改革プランにおいて、平成17年度から21年度までの5年間で職員削減目標31人に対して、プラン終了時点の平成22年4月には、この目標を21人上回る52人の削減であり、総職員数は556人になりました。平成23年4月1日現在の総職員数は、554人です。

再質問 佐倉市は人口17万6千167人で職員数一人あたり178人、八街市は人口7万5千719人で職員数一人あたり136人です。

再質問 市より職員数が2割多いので2割カットできないか。

総務部長 現在の定員数について、一定の適正化が図られていると考えています。

再質問 財政力が弱いのに職員数が

多いのはどういうことか。

総務部長 実情にあわせて定員の適正化を行っています。

問 市税等の滞納状況に適切に対応しているのか。

市長 平成20年9月に市税等徴収対策本部を設置し、徴収対策の強化に全庁的な取り組みを進めています。納付意識が低く悪質な滞納者には財産調査や実態調査を行い、財産の差し押さえなどの滞納処分を実施しています。

再質問 八街市は、税の滞納者に対しての基準はあるのか。

総務部長 税に関しては法律に則って督促等を行っています。悪質な滞納者には、財産調査を実施して差し押さえなどとして厳しく対応しています。一律な基準ということはありません。

再質問 平成20年9月に市税等徴収対策本部を設置しているがそ

の効果を伺う。

副市長 平成21年度の収納状況では、現年度分が94.2%、滞納繰越分が13.1%です。前年度と比較するとわずかながら改善されています。

問 市税収入収納効果は。

市長 搜索を平成20年11月より実施した52回の搜索で普通自動車、軽自動車、オートバイなど動産170点余りを差し押さえてインターネット公売により売却し、滞納分に充当しました。

再質問 歳出面での節減合理化は。

市長 平成23年度当初予算でも「人件費の見直し」として、職員数の抑制や管理職手当の削減、特別職の給与削減、非常勤特別職の報酬等の見直しを実施しています。

※その他の質問

◆入札問題

◆砂ぼこりと放射能対策

個人質問

国保税未納解消へ非常事態の宣言を

桜田 秀雄



一 国民健康保険事業

問 国保税の収納率、全国ワースト1位と云うマスコミ報道は、国保問題に止まらず八街市全体に悪影響を及ぼしつつある。住民を信頼し、街ぐるみで国保問題を考えるために「非常事態宣言」を行い、ともに支え合うということの大切さを訴えるべきでは。

市長 現段階での発言は考えていません。国民健康保険は、急速な高齢化や医療技術の高度化などにより、医療給付が増大、さらに保険税の負担能力の低い方などの増加や無職の方が多いなど、制度の構造的な問題も抱え、非常に厳しい財政状況にあることは間違いありません。国保事業の趣旨や目的について、市民と市が情報を共有することが重要ですので、多様な啓発活動を展開していきます。

再質問 市営住宅の入居状況について伺う。

市長 市営住宅の管理戸数は全体で448戸、このうち51戸は公募を停止しており、実際の入居可能戸数は397戸です。公募を行なっている九十九路団地、長谷団地、朝陽団地、交進団地の管理戸数は347戸、うち入居戸数は316戸で入居率91.1%。建築後40年を経過している実住団地、榎戸団地、富士見団地、笹引団地及び交進団地の一部は老朽化が著しいことから新規募集は行なっていない。管理戸数101戸のうち、入居戸数は50戸です。

再質問 非募集住宅団地の跡地について、ドッグランを整備するなど有効活用すべき、利用計画について伺う。

市長 平成5年に「公営住宅再生マスタープラン」が策定され18年が経過することから、平成24年度以降に市営

住宅の需要や役割、施設の現状を調査し、マスタープランの見直しを行ない、その後、跡地利用を検討していきます。

市長 平成24年度予算編成の基本的な姿勢について伺う。

市長 ①第二次基本計画の推進について、4つのリーディングプランを中心とした各施策の着実な推進。

②厳しい経済情勢を受け、市民ニーズの高い緊急性の高い課題への対応。

③効率的な財政システムの確立に向けた行財政改革の推進。

④財政対策の目標

交通対策

交通対策の重点政策について伺う。

市長 榎戸駅東口開設の工事について、平成26年度着工を目指します。

市長 榎戸駅東口開設の工事について、平成26年度着工を目指します。

市長 榎戸駅東口開設の工事について、平成26年度着工を目指します。

市長 榎戸駅東口開設の工事について、平成26年度着工を目指します。

市長 榎戸駅東口開設の工事について、平成26年度着工を目指します。

市長 榎戸駅東口開設の工事について、平成26年度着工を目指します。

個人質問

豊かな郷土を目指して

教育問題

長期欠席、不登校の現状から現在の取り組み、また対策について伺う。

教育長

教育長 本市の児童・生徒の不登校の割合は、平成22年度小学校では1パーセント、中学校では6.7パーセントでした。取り組みは、毎月各学校の担当者と一人ひとりの児童・生徒についてヒアリングを行い、得られた情報を学校教育課内で共有し、担当指導主事が解決に向けての指示・助言を行っています。また、総括して議論する場として、毎学期1回、長欠担当者会議を開催し、現状について情報を共有し、中学校区ごとに小中学校の教職員が集まり、一人ひとりの児童・生徒に対する適切な関わり方について協議しています。さらに、教育支援センターナチュラルでは、学校復帰に向け日常生活指導、学習指導、スポーツ

誠和会

小高 良則



活動等、自己肯定感を高める活動を行っています。新たな長期欠席、不登校を生まないために授業改善や自立的な集団の育成、夢を育む教育プラン、規律と暖かみがあり楽しいと感じることが出来る学校づくりを目指します。また、福祉的な関わりが必要な家庭環境の児童・生徒には、児童相談所や福祉施設などの関係機関とのケース会議を行い、協議しています。遊びや非行等で不登

対し、貸付希望者の情報を迅速に提供するため広報やちまたで貸付希望者へ呼びかけ、農地利用集積の円滑化に努めています。農地の借受者に対し、借地期間に応じ、奨励金を交付するなどの施策を講じ、更にこれから農業者の経営管理の合理化、その他の農業経営基盤の強化を促進するための措置を総合的に講ずることにより、農業の健全な発展を図っていきます。

環境問題

校になるケースへの対応は、北総地区少年センターや安全安心担当官等に相談し、直接保護者や本人と関わっていたいています。

問 夏の暑さ緩和のため緑のエコカーテン事業の実施について伺う。

環境問題

農業問題

問 遊休農地面積と遊休農地の解消の取り組みについて伺う。

市長

市長 遊休農地の面積は全体で約328ヘクタールです。遊休農地の解消策としては、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者等に

市長

市長 緑のカーテンは、植物を建物外側に育成させ、建物の温度上昇抑制を図るほか、居住環境整備としての遮光や目隠しなどに大きな効果が期待できます。消費電力の抑制や地球温度化対策の一環として、来年度、各公共施設を中心に実施できるよう、検討します。

個人問

高齢者ボランティア・ポイント制度の導入を

高齢者ボランティア
ポイント制度

現在、第5期介護
保険事業計画の策定

市長

問 介護保険料の推移、対策について伺う。

誠和会

山口 孝弘



市長 地域支援事業による介護予防の推進体制を確立、高齢者の生活機能の低下を未然に防止し維持向上を図り、介護を必要としない元気な高齢者の育成に努めることで、保険料の引き上げ幅をできる限り抑制したいと考えています。

企業参画型子育て

ランティア・ポイント制度（介護支援ボランティア制度）を八街市でも実施できないか伺う。

市長

市長 第5期の高齢者福祉計画・介護保険事業計画で、導入の是非等を検討していきます。

問

問 子育て世帯を応援するため、企業参画型子育て支援事業の実施準備を進めています。今後、この事業についてどのように働きかけていくのか伺う。

市長

市長 この事業について、ホームページに掲載し、事業主の方に周知を図ったところで。今後も、県と連携を図りながら、市民の方へのお知らせや、支援力ードの配付等実施していきます。

スポーツプラザ施設整備

問 頑張っている選手
団体を称える方策の
1つとして、スポーツプラザ
に懸垂幕を設置できないか。

教育長

る場所や、方法等を検討していますが、懸垂幕昇降機は多額の費用がかかるので、当面は掲示板を活用して活躍した選手等の周知を図っていきます。

問

設内には、貴重品を
 入れることのできるコインロ
 ッカーがありません。運動を
 しながら、貴重品を管理する
 というのは大変難しく、多く
 のスポーツ施設では必ずと言
 っているほど設置されている
 のが現状です。コインロッカ
 ーを設置する考えはないか。

教育長 コインロッ

教育長

カーの設置は、近隣スポーツセンター等の設置状況や費用など、管理方法について研究します。

※その他の質問

◆職員提案制度

◆職員提案制度

個人質問

高齢者から子どもまで安心して生活できるために

林 修三



生活を守る警察力

八街警察署設置に向けた取り組み状況と今後の展望について伺う。

市長

本市選出の県議会議員や八街市議会の協力の他、警察力の強化による治安悪化防止になるため、引き続き市長会等を通じて要望します。

再質問

八街警察署の誘致を早いうちに、是非お願いしたい。

副市長

いろいろな手立てを講じて要望を力強く発信していくことが大事だと思います。市民の方の要望、市当局、議会議員のお力添えを得て、機会あるごとに要望活動を実践に移します。また、県議の環境生活警察常任委員長という要職のお力添えも得て、一日も早く八街警察署が新設できますよう頑張ります。

参加してよかったスポーツ振興

誠和会

問

ピーナッツ駅伝や市ロードレース大会の今後の振興策の考えを伺う。

教育長

この大会は、本市が行う重要なスポーツ行事であると認識しているので、体育協会等関係団体と協力して、大会が年々盛大になるよう振興を図ります。特に参加者の募集方法は、新たに近隣市町のスポーツ団体にも声をかけ、参加者の増大を図ります。また、開催場所やコース、PRの方法等も検証を行うと共に、参加者や関係団体等から広く意見を伺い、多くの市民が参加しやすい環境を整えます。

再質問

ロードレース大会でバイパス一部開通部分を考える考えはないか。一部開通だからできます。全線開通したら実施しにくいと思います。参加者も「いい道路ができたね」という思いで走れるので、検討できないか伺う。

教育次長

バイパスの利用につ

高齢者と子どもたちの生きがいづくり

高齢者や子どもたちを大切にしたい。まちづくりについて伺う。

市長

一人暮らしの高齢者への生活支援として、急病などの緊急事態をボタン一つで通報できる装置の管理事業、健康保持と安否確認を兼ね備えた高齢者世帯への配食サービス事業を実施しています。また、地域の子どものための居場所づくりのため「キラットスマイル広場」や「昔の遊び」など高齢者を含む大人達との交流を行っています。

再質問

ロードレース大会でバイパス一部開通部分を考える考えはないか。一部開通だからできます。全線開通したら実施しにくいと思います。参加者も「いい道路ができたね」という思いで走れるので、検討できないか伺う。

教育次長

バイパスの利用につ

個人質問

弱者救済のための児童虐待防止、DV防止対策について婚活イベント実施について

石井 孝昭



安心安全なまちづくり

佐倉市八街市酒々井町消防組合の隊員の基準数は。

市長

基準数が575人に対し、現有数は372人で充足率は64.7パーセントです。

消防団員の確保と組織力強化

消防団員の確保への取り組みは。

市長

消防団員が勤務する事業所等に消防活動を理解していただけるように協力依頼を行っています。

再質問

北総中央用水関連施設で、防火用水として取水できる場所は。排泥口が28カ所、調整水槽脇に池を設けた箇所が4カ所、ウォータースタンドが4カ所あります。

再質問

排泥口28カ所の利用方法は。

健康・福祉政策

児童虐待の実態とその防止対策の取り組みは。

市長

一時保育事業や子育て支援センター等を充実させ、児童虐待の防止に努めたい。

再質問

DV防止法が施行されたが、八街市のDV防止対策の取り組みは。千葉県女性サポートセンターと連携を図り、シェルターへの一時保護を行い、加害者から離れて安心・安全に生活できるよう支援しています。

再質問

地域の活性化に向けての婚活イベント等の八街市の取り組みは。情報収集を行い、本市の出し

再質問

情報収集を行い、本市の出し

環境問題

八街市の騒音及び悪臭問題の現状と対策は。

市長

平成22年度の音振動が11件、悪臭が5件。平成23年10月末現在では騒音・振動が6件、悪臭が4件です。通報があつた場合、職員により現地調査を行い、八街市環境保全条例に基づき、指導しています。

再質問

上砂地先の産業廃棄物撤去に向けての取り組みは。県の負の遺産対策事業の助成を得て撤去を進めるため、負の遺産対策事業助成金交付要綱に基づき、平成23年10月17日付で、助成金申請書を提出しています。

再質問

その他の質問。焼却主灰、焼却飛灰の処理について

再質問

焼却主灰、焼却飛灰の処理について

豊かで住みやすい街づくりのために

個人質問

誠和会

木村 利晴



道路問題

問

道路に面した樹木が、通行車両や歩行者に支障となる伸びた枝処理の実情及び対策を伺う。

市長

生垣や雑木等が通行の妨げになっている箇所は、道路パトロール等で把握するほか、市民からの通報により把握しており、その件数は、平成22年度23件、今年度は11月25日現在で13件です。

通報等を受けた場合は、市内の地権者には、直接剪定等のお願いをしています。市外の方には、電話や文書により依頼しています。

雨水排水

問

道路の冠水について伺う。

市長

冠水箇所の把握は、既に把握している箇所他では、ゲリラ豪雨の時などに市民からの通報受け、現場を確認することにより把握する場合や、パトロールにより発

個人質問

農業問題と安心して住める街づくりを!!

誠和会

小山 栄治



農業問題

問

特産落花生のちばエコ農産物栽培への積極的な推進について伺う。

市長

生産者等のネットワークづくりやPR活動、地域の特性を考慮した栽培の推進、主要品目の拡大及び産地拡大の推進等を行っている推進委員会や千葉県と連携し、ちばエコ農産物の栽培について推進したいと考えています。

問

十年後の八街農業の予想と対策について伺う。

市長

担い手に関わる人づくりでは、農業者の経済的・社会的基盤が確立されなければならず、農産物の価格保証などの財政負担だけではなく、規模拡大のための農地基盤の整備・農地の流動化・雇用労働の確保などの側面支援で、可能にしたい。農地等の基盤づくりでは、増大する耕作放棄地を農地として復元し、優良農地の保全に努め

生活問題

問

八街は畑地帯で、井戸水の硝酸性窒素が多くでている地域だが、削減の方策について伺う。

市長

浄水器設置費補助金交付要綱を定め、水質結果が1リットルあたり、10ミリグラム以上の場合、浄水器設置費の2分の1、上限額6万円の補助金を交付しています。八街市に30カ所の

問

避難所があるが、的確な対応が出来ていないところがあったと聞くが、避難場所の非常時のマニュアルについて伺う。

市長

いざ災害が起きた際には、身を守る行動をして、近くの公園や広場などを一時避難

生活問題

問

児童クラブによって、かなり温度差が見られるが、児童クラブの問題点と対策について伺う。

市長

全小学校区に設置したものの中には、入所希望者が多く、いまだに待機児童の多い朝陽児童クラブは、旧職員住宅の借用について教育委員会と協議が整い、平成24年度に増設できるよう準備を進めています。

問

学校の近く、敷地内、また空き教室を利用できないか伺う。

市長

教育委員会の実態もある中で、その辺の協議をして、可能であればなるべくその中で作りたい。

発展ある未来のまちづくり

個人質問

新規財源確保計画

問

平成25年3月に酒
々井インター並びに

アウトレットモールの開通
開業に伴う、財源の確保計
画はあるのか。また、10月
頃の酒々井町と本市との間
で行われた学習会の内容は、

市長

仮称酒々井イ
ンターチェンジ
周辺の道路ネットワーク、
また、インターチェンジへ
の接続道路整備は、県に対
し要望を行っています。イ
ンターチェンジだけでなく、
これらの整備が地域活性化
につながると考えており、
周辺地域への企業立地拡大
に寄与すると思います。学
習会では、道路排水、下水
道の本市との接続は流量等
の条件により、極めて難し
いとのことでした。しかし、
今後学習会を通じて情報収
集を行い積極的なアプロー
チが必要と考えています。

再質問

近隣に「道
の駅のような
直売所」を作るという計画

誠和会

鈴木 広美



の話があるが、その計画の
状況はどうか。

経済環境部長

本市
と酒々

井町で直売所や、道の駅の
ような形で出来ないか話し
合いをしています。アウト
レットモール近隣地に作る
うという計画で担当者レベ
ルでの協議を現在申し入れ
しています。

道路整備

問

市道朝日7号線の
道路整備と歩道改善
工事について伺う。

市長

全面的な整備
計画はありませ
んが、舗装の損傷が激しい
部分は、振動の発生や交通
事故につながることもある
ので、修繕を検討します。

再質問

ガードレ
ル内側の排水

路上の歩道改善は出来るの
か。

建設部長

歩道の位
置づけはあ
りませんが、段差や平坦
性の確保の改善に努めます。



▲市道朝日 40 号線

市長

市道朝日40号線の
道路整備と歩道確保
について伺う。

再質問

この道路は、
本来6メー
トル幅の道路ですが、整備が
出来ないのか。

建設部長

排水を考
慮して道路
脇に土水路用地として設け
た所があります。排水を阻
害しないように待避所な
ど、拡幅したいと考えてい
ます。

(表 紙)

請 願 書

紹介議員 氏名

印

(内 容)

件名 請願について

要旨

理由

以上、地方自治法第124条の規定により、請願いたします

平成 年 月 日

請願者（代表）

住所

氏名

八街市議会議長

印

様

請願をしたいとき

請願は国民が国や地方自治体に対し一定の希望を述べる憲法に保護された国民の権利の一つで、市政について要望がある方なら誰でも請願することが出来ます。

市議会に請願する場合は市議会議員の紹介が必要です。

提出された請願は、議会で議案と同様に審議し「採択」「不採択」かを決定し、提出者へお知らせします。「採択」は議決機関である議会の意思となりますが、採択即実現を指すものではありません。

○請願は、議会の開会・閉会中を問わず、いつでも提出でることが出来ます。

○請願は市議会議長あてに議会事務局へ提出してください。

○請願者は、住所、氏名を記名・押印してください。法人などの場合は、所在地、名称、代表者の記名・押印が必要です。

○署名等は住所、氏名の記名・押印が必要です。（押印がないものの、鉛筆書きは不可）

* 議会を傍聴してみませんか *

3月定例会は2月17日(金)から3月16日(金)までの予定です。

・一般質問日程(予定) 2月22日(水)・23日(木)・24日(金) 午前10時～

詳しい日程などは議会事務局 ☎443-1482 へお問い合わせください。

成人おめでとうございます



(成人式 平成24年1月8日)

皆さんには、選挙権など様々な権利が与えられましたが、それと同時に社会的責任も生じます。現実の社会は、どんな人にとっても決して平坦な道ばかりではありません。しかしながら、皆さんには、お一人おひとり、他の人とは違うそれぞれの可能性が秘められています。これからも、それを引き出す努力を忘れず、失敗を恐れず、目標に向かい、あせることなく、かけがえのない人生を大切に歩んでください。

(議長あいさつより)

八街消防出初式

消防関係者の皆さまが、市民の安全を守るために、日頃より献身的に消防業務に携わっておられますことに、心より敬意を表します。

市議会といたしましても、市当局とともに、市民の安全確保のために、防災体制の強化に努力する所存です。

皆様方におかれましては、健康に留意され、今後とも、災害から市民の生命と財産を守るため、一層のご協力をお願い申し上げます。

(議長あいさつより)



(消防出初式 平成24年1月10日)

★議長・副議長の出席報告★

【12月】

- 3日・産業まつり農産物共進会表彰式
- 4日・県スポーツ少年団柔道交流大会
- ・市老連チャリティー活き活き祭り
- 10日・環境保全フォーラム印旛研修会
- 11日・ユニークダンスのつどい
- 18日・少年野球教室
- 25日・市民音楽祭
- 26日・消防組合議会定例会

(佐倉市)

【1月】

- 5日・新しい時代を開く千葉県民の集い
- 8日・成人式
- 10日・消防出初式
- 15日・ピーナッツ駅伝大会
- 17日・消防組合議会消防署所視察
- 19日・八街少年院成人式
- ・子ども模擬議会
- 22日・子ども会新春書き初め展表彰式
- ・八街ファイターズ創立30周年記念式典
- 29日・近隣中学校交流柔道大会
- 【2月】
- 1日・山口県山陽小野田市議会議員行政視察来庁
- ・北総地区市議会正副議長会臨時会 (四街道市)
- 3日・印旛管内市議会正副議長連絡協議会定例会 (印西市)

(千葉市)

(佐倉市他)

12月定例会議案等結果一覧

(9月定例会 継続審査議案)

○賛成 × 反対

議案番号	件名	議決年月日	結 果	各会派の賛否					
				誠和	公明	21	共産	古	桜
議案第7号	平成22年度八街市一般会計歳入歳出決算の認定について	平成23年12月21日	認 定	○	○	○	×	○	○
議案第8号	平成22年度八街市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	平成23年12月21日	認 定	○	○	○	×	○	○
議案第9号	平成22年度八街市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	平成23年12月21日	認 定	○	○	○	○	○	○
議案第10号	平成22年度八街市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	平成23年12月21日	認 定	○	○	○	×	○	○
議案第11号	平成22年度八街市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	平成23年12月21日	認 定	○	○	○	×	○	○
議案第12号	平成22年度八街市学校給食センター事業特別会計歳入歳出決算の認定について	平成23年12月21日	認 定	○	○	○	○	○	○
議案第13号	平成22年度八街市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	平成23年12月21日	認 定	○	○	○	×	○	○
議案第14号	平成22年度八街市水道事業会計決算の認定について	平成23年12月21日	認 定	○	○	○	○	○	○

(12月定例会)

○賛成 × 反対

議案番号	件名	議決年月日	結 果	各会派の賛否					
				誠和	公明	21	共産	古	桜
議案第1号	八街市一般職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	平成23年11月30日	原案可決	○	○	○	×	×	×
議案第2号	八街市在宅重度知的障害者及びねたきり身体障害者福祉手当支給条例の制定について	平成23年12月21日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第3号	指定管理者の指定について	平成23年12月21日	原案可決	○	○	○	×	×	×
議案第4号	字の区域及び名称の変更について	平成23年12月21日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第5号	市道路線の変更について	平成23年12月21日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第6号	市道路線の認定について	平成23年12月21日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第7号	平成23年度八街市一般会計補正予算について	平成23年12月21日	原案可決	○	○	○	×	×	○
議案第8号	平成23年度八街市国民健康保険特別会計補正予算について	平成23年12月21日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第9号	平成23年度八街市介護保険特別会計補正予算について	平成23年12月21日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第10号	平成23年度八街市学校給食センター事業特別会計補正予算について	平成23年12月21日	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第11号	平成23年度八街市下水道事業特別会計補正予算について	平成23年12月21日	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第12号	平成23年度八街市水道事業会計補正予算について	平成23年12月21日	原案可決	○	○	○	×	○	○
請願第23-4号	学校図書館の充実を求める請願	平成23年12月21日	不 採 択	×	×	×	○	×	○
発議案第7号	国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書の提出について	平成23年12月7日	原案可決	○	○	○	○	○	○

誠和(誠和会)…… 中田 眞司、湯淺 祐徳、小高 良則、山口 孝弘、林 修三、石井 孝昭、
木村 利晴、小山 栄治、小菅 耕二、鈴木 広美、長谷川健介
公明(公明党)…… 新宅 雅子、鯨井眞佐子、川上 雄次、服部 雅恵

21(やちまた21)…… 加藤 弘、林 政男
共産(日本共産党)…… 丸山わき子、右山 正美、京増 藤江
古…… 古場 正春 桜…… 桜田 秀雄

編集後記

文字の持つ力を再認識した報道がありました。昨年、新聞協会賞を「河北新報のいちばん長い日 震災下の地方紙」(河北新報社)が受賞しました同書では東日本大震災で本社の新聞発行機能が倒壊、販売店の多くが自宅や販売拠点を失い、それでも被災地に毎日、新聞を絶やさず届けようと奮闘する様子が描かれています。全国紙などが原発中心の報道に移り、地元情報が脇役とされたときでも、地域が求める情報を報道し「地元紙は暗い足下を照らす明かり」の存在として高く評価されました。

さて12月議会では16名の議員から地域に根ざした一般質問が活発に行われました。議会が地域や八街の未来へ光りを届ける存在で有りたいと念願致します。これからも、市民の皆様の身近で、市民が主役の市政確立を目指します。また「議会だより」は公平・正確を旨に報道に取り組みます。より多くの市民の皆様の声を議会へお寄せ下さい。

川上 雄次

●議会だより編集委員会● 委員長/加藤 弘 副委員長/川上雄次 委員/京増藤江・古場正春・小高良則・山口孝弘・林 修三・石井孝昭

※本紙にご意見等ございましたら「議会だより編集委員会」までお寄せ下さい。 TEL043(443)1482